

## 第 3 回福岡市病院事業運営審議会での主なご質問・ご意見

ご質問 (○)  
ご意見 (◇)

## 1. 小児医療・周産期医療に関するご質問・ご意見

- 新病院の留意事項で西区・早良区の小児科医から、小児医療のバランスの変化への配慮が必要という指摘がされているが、解決策が示されないまま、「妥当」という結論となったのはなぜか。
  - ネットワークには地域性が重要だが、どこに建設をするかでその懸念は変わってくる。場所については付託されていないので、医療機能を中心に中間報告を（妥当と）まとめた。
  - 最終的には、医療全体のネットワークの問題なので、基幹病院が抜ければ当然バランスが変わる可能性があって、その時にはその配慮が必要としている。
- アイランドシティに移転する場合は、新たに市の責任として西部の基幹病院を責任をもって対応していくという方向性を打ち出さないといけないとの指摘と解釈しているのか。
  - 配置バランスの指摘については、課題の1つと認識している。
  - 小児の2次機能については、周辺の病院と相談し、ネットワークで対応するなど、支障のないような方策を検討していく。
- ◇周産期医療については、産科の併設、NICUも増設ということで福岡市の周産期医療が充実するのではと期待が持てる。
- ◇こども病院は福岡市立なので、小児一般医療の充実も使命だと思うし、診療科の充実も大事だと思う。一方で、市民の利便性、小児医療の地域偏在による支障にも配慮して頂きたい。
- ◇こども病院に限れば、患者の過半数は市外の方であり、市外、県外の方が期待している小児医療にも配慮してほしい。
- ◇早良区、西区の人が、移転した場合にどれくらい負担が増えるのか、増えないのかシミュレーションをしてはどうか。

## 2. 小児救急医療に関するご質問・ご意見

- 福岡市は航空管制がかなり厳しい。救急ヘリは、新しいこども病院ではかなり待機、迂回をさせられる。そういう物理的な問題で、小児救急医療の充実という観点で論議をされたのか。是非していただきたい。
- ドクターヘリは重要なポイントとは思いますが、そういう検討はしていない。
- ◇救急医療は、1次から3次まで1つの医療機関で対応することが理想。完結型の救急医療ができることは、小児救急にとって喜ばしいことだ。

## 3. 感染症医療に関するご質問・ご意見

- 小児と感染症は切り離せるのか。SARSなど新しい感染症が出たときのため、充実して整備する必要があるのではないかと思う。
- 感染症については、現在、感染症の指定医療機関に基づく病床が24床、そして小児の一般の感染症に対応する病床が50床であり、今回の中間報告に出てくるのは24床の部分である。現在のこども病院・感染症センターでは、感染症に対応している医師は内科医1名しかおらず、新型インフルエンザ、SARSは集学的に広い

医療分野からの支援が必要である。SARS（が問題となった際に整理したとことでは、今後SARSが発生した場合）は九大、福大に支援いただくこととしている。新型インフルエンザも協定的に大学病院から協力があるようになってきているが本当にそれでいいのかということでこういう議論になったと思う。今後県との協議も必要になると思う。

○県が指定するという体制になって、他の政令市の感染症対策はどうなっているのか。

→第1種については、他の政令指定都市では最低600床規模の市の中核になる総合病院があり、その中で感染症医療をやっている状況が多い。北九州市も北九州医療センターで院内バックアップ体制がある中でやっていると聞いている。

→福岡県では、2種はこども病院、北九州は市立医療センター、筑豊では田川市立病院、南の方では聖マリア病院、筑後市立病院を指定している。1種はこども病院のみである。

#### 4. その他のご質問・ご意見

○3月10日の読売、西日本の記事について、整備場所は議論しないということだったのに、どうしてこういう記事になったのか。

○当局としての対応はどうだったのか。

→座長の発言の記事については、そういった発言はしていないので抗議した。

→医療機能部会の報道については、非公開で行っており、資料の取扱も慎重に取り扱っていたが、結論として管理が不十分で、それが報道の素材に使われているということだと思う。取材も受けておらず、1部不正確に伝わっており、迷惑をおかけして申し訳ない。  
事実と異なるということで申し入れを行っている。

○今後の進め方について、5月の最終答申までの間に市民の意見をパブリックコメント等で把握するのか。是非やってもらいたい。

→パブリックコメントについては、基本構想策定に着手するので、その段階ですることになると思う。

○答申を受けて、市として検証・検討結果を整備場所も含めて変更する余地があるのか。

→整備場所について、市としてはアイランドシティが適地と考えているのは変わっていない。医療機能も大きな要素だが、それ以外の要素も総合して最終的には行政として判断すべきと考えているので、審議会の答申をいただいた上で市として決定をする。

○九大病院内への移転構想についての報道があったが、こういった「第3の選択」について考えているのか。

→九大の件については、一部の先生のアイデアということで、組織的な検討をされた位置づけでもないということで、判断のしようがない。「第3の選択」ということについては、こども病院の整備を急ぐ中で最大限のスピードで取り組んでいるので、今の取り組みの延長線上の中で市としては最終的な方針を定めたいと考えている。

→アイデアとしては悪くないと思う。しかし、出し方が唐突であった。九大病院の土地は国の土地でもある。

◇今のこども病院の感覚、今の場所ではなく、5年先の変化を踏まえ、こども病院をどうするか夢をふくらませて考えて欲しい。市もみんな素晴らしい病院を作ろうというキャンペーン的なことをしていけば、市民の賛成を得られるのではないかと思う。